

知・徳・体のバランスのとれた生きる力の育成 ～確かな学力と自立する力の育成を目指して～

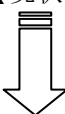



○学校名 行田市立忍中学校
 ○所在地 埼玉県行田市本丸18番6号
 ○電話番号 (048) 554-9371
 ○E-mailアドレス oshi-jh@tvg.ne.jp
 ○ホームページ <http://www.tvg.ne.jp/oshi-jh/>

1 研究主題

(1) 研究主題 知・徳・体のバランスのとれた生きる力の育成
～確かな学力と自立する力の育成を目指して～

(2) 本校の現状と課題、及び到達目標

【現状】
 県学習状況調査や「3つの達成目標」の結果から、本校の『学力』についてはおおむね良好であると言える。しかし、各教科の学習達成度・学習状況を見てみると、表現力や思考力といった言語活動の充実が不十分であると思われる。また、確実な基礎学力の定着が充分でない生徒が見られる。

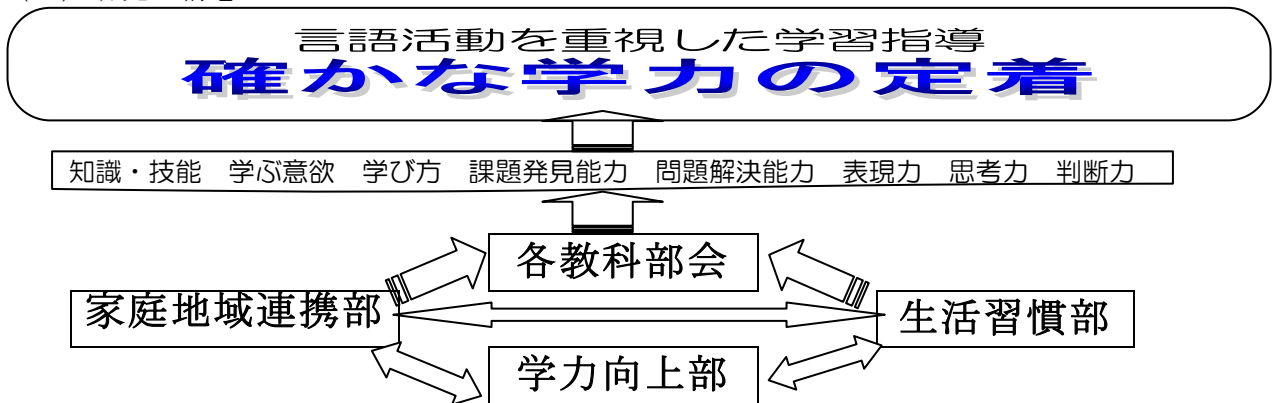
【課題】


- ・基礎・基本の更なる徹底
- ・指導方法の工夫と改善
- ・思考力・判断力・表現力の育成
- ・読解力の育成、漢字の読み書きなどの反復学習による定着
- ・習得・活用を取り入れた指導内容
- ・学習意欲の向上と家庭学習の定着
- ・学習規律の確立

【到達目標】

- ・個に応じた指導を繰り返し行い、基礎的・基本的な内容をより深く理解することができる。
- ・習得、活用を取り入れた指導内容や指導方法を工夫し意欲的に学習に取り組むことができる。
- ・言語活動の充実を図り、実践授業を通した思考力・判断力・表現力を育成することができる。
- ・家庭や地域と連携し、教育力を高めることができる。

(3) 研究の構想



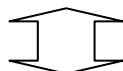
(4) 研究の仮説

- ・学力向上部
 学習指導法を工夫し、生徒の興味・関心を高めて、進んで学習する手立てを講ずれば、学力が向上するであろう。
- ・生活習慣部
 生徒の基本的な生活習慣が向上し、学習規律が高まれば、学習への関心が高まり、学力・体力が向上するであろう。
- ・家庭・地域連携部
 家庭の教育力を高め、地域との連携を深めることにより、生徒の学力が向上するであろう。

2 研究の実践

学力向上部

- ①言語活動能力（思考力・判断力・表現力）の育成、及び習得、活用を取り入れた授業の工夫
 - ・確認テストの実施
 - ・自己評価の工夫
- ②全教科一研究授業と教科会の充実による指導方法の工夫改善
- ③シラバス（学習の進め方）の作成
- ④TT、少人数指導、低学力生徒への補充学習の実施
- ⑤放課後学習の実施（定期テスト前）
- ⑥朝自習の工夫（朝読書の取組）
- ⑦基礎学力検定の実施
 - ・授業中の確認テストをもとに、小テストの実施



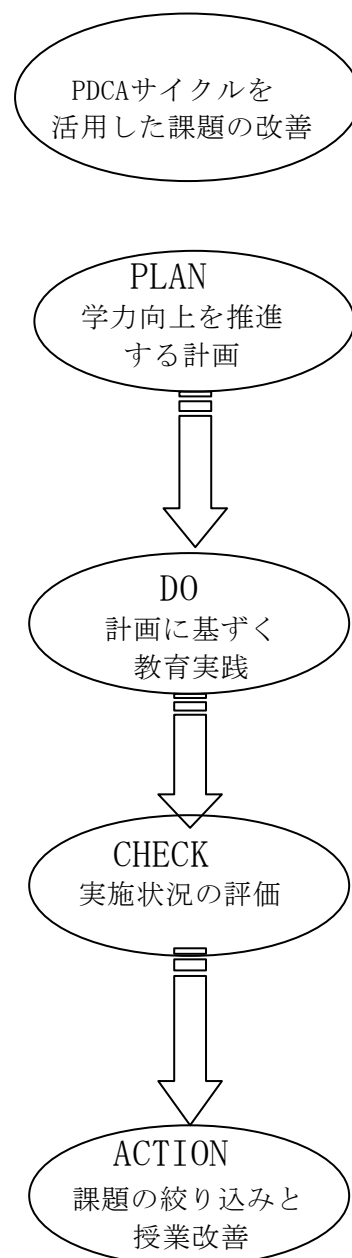
生活習慣部

- ①生活習慣・学習規律の徹底
 - ・「あいさつ日本一」を生徒指導の柱にし、あいさつの励行
 - ・時間を守る、言語環境を整える指導の徹底
 - ・学習規律に関する指導の徹底（授業の約束、発表のすすめ）
- ②部活動の充実
- ③定期的に音楽集会を取り入れた全校合唱の取組
- ④アンケート調査の活用と教育相談の充実
- ⑤広報誌（パワーアップ）の発行



家庭・地域連携部

- ①家庭（保護者）の実態把握・啓発
 - ・保護者に対するアンケートの作成、実施及び分析
- ②家庭の教育力との連携
 - ・家庭との連携による学習習慣の確立と家庭学習の充実
 - ・『家庭生活・家庭学習のすすめ』の作成
- ③新入生保護者説明会での講話



3 研究の成果と課題

【成果】

- ・授業に確認テストや自己評価を組み込み、習得・活用を取り入れた授業を実践することができた。
- ・TT、少人数指導、低学力生徒への補充学習を行うことにより、授業に遅れがちな生徒の意欲を高めることができた。
- ・「あいさつ日本一」を目指したあいさつの励行や時間を守る、言語環境を整える指導により、生活習慣の向上を図ることができた。

【課題】

- ・学力向上には、「知」「徳」「体」のバランスが重要であるという共通理解のもと研究を推進してきたが、各研究部がさらに連携を取り合って研究を進めていきたい。
- ・読書のさらなる習慣を図るために、今後も読書週間等の取組を継続していきたい。
- ・生活習慣や学習規律のさらなる確立を図るため、今後も取組を継続していきたい。
- ・家庭学習の定着が図れるよう、家庭への啓発を継続していきたい。